

プレス・リリース

2016年4月25日

プリンセス・クルーズ、2017年日本発着クルーズを6月1日発売開始と発表

日本発着就航5年目となる2017年は、前年比27%増の最長のシーズンに



ダイヤモンド・プリンセス

世界三大クルーズ会社の、[プリンセス・クルーズ](#)は、2013年の日本発着の初就航以来、これまでで最長のシーズンとなる2017年の日本発着クルーズを発表しました。

長崎で建造された[ダイヤモンド・プリンセス](#)による、魅力あふれる寄港地をめぐる多彩なコースは、横浜と神戸を母港に日本を周遊し、全28出発日（4チャータークルーズを含む）で、7万5000人のお客様をお連れします。日数は6日間～16日間まで、6カ国の29港を訪れます。期間は、4月20日～11月10日出発までの約7ヶ月あまりで、前年より27%増の最長シーズンとなり、前後のコースとの連続乗船も可能となります。発売は6月1日より開始します。

東尋坊や永平寺の玄関口となる敦賀や、人気のリゾート石垣島への初寄港を含め、韓国、台湾、ロシア、香港、ベトナムなどに寄港するバラエティ豊かなコースでは、ユネスコ世界遺産を堪能したり、日本屈指の規模を誇る壮大な祭りやイベントを楽しむことが可能です。コースの詳細は

<http://www.princesscruises.jp/>をご覧ください。

プリンセス・クルーズの社長、ジャン・スワーツは次のように述べています。

「プリンセス・クルーズは、魅力的で充実したコースを取りそろえ、アジアにおいてもベストアイテナリーを提供するトップのクルーズ・ラインとして認知されてきました。2017年の日本発着クルーズは、お客様の期待に応えるコース内容で、これまでよりも期間を延長して、皆様をお迎えします。人気の高い港を訪れ、船内では各地の文化を取り入れたエンターテイメントや、その土地ならではの食事をご用意します。また、日本のお客様がクルーズの旅を堪能し、素晴らしい思い出となるよう、船内では日本語の船内新聞や、約100人の日本語スタッフなど、日本語サービスを充実させ、2ヶ国語でのサービスを提供しています」

2017年日本発着クルーズのハイライトは以下の通りです。

秋までシーズン延長

2017年10月17日出発の「秋を彩る日本周遊と韓国10日間」では、紅葉の美しい時期に青森や富山（伏木富山）など、秋の東北、北陸を訪れます。

祭り・イベント

春の2017年4月20日出発のコースでは、桜の見頃で人気の高い桜祭りなど、花の名所をめぐる。寄港地の秋田では「角館桜まつり」、青森では「弘前さくらまつり」、富山（伏木富山）では「となみチューリップフェア」をお楽しみいただけます。

また、夏祭りの季節には、「青森ねぶた祭」と「秋田竿燈まつり」を訪れる9日間～10日間のクルーズをご用意しています。両都市では出港時間を夜遅くに設定し、盛大な夏祭りを存分にお楽しみいただけます。

ユネスコ世界遺産

2017年の日本シーズンでは、10のユネスコ世界遺産が含まれる予定です。北海道周遊クルーズでは、人気の高い知床半島のシーニッククルーズを組み入れています。知床は世界有数の豊かな生態を誇り、アメリカの大手出版社、コンデナスト社が発行する旅行専門誌『コンデナスト・トラベラー』では「世界のクルーズでめぐる絶景」のひとつにあげられています。そのほか、函館では、出港時刻を深夜にし、函館山からの美しい夜景をご堪能いただけます。また、長崎寄港時後に、端島（通称：軍艦島）を遠望しながら航行するコースもあります。

ショート・クルーズ

クルーズ初心者にお勧めのショート・クルーズでは、7月21日発、9月13日発、9月26日発の横浜発着6日間のクルーズがあります。寄港地は釜山と、長崎、鹿児島、清水のいずれかを組み合わせたコー

スです。また、6月30日発の6日間（神戸発/横浜着）のコースでは、釜山、長崎のほか、端島（通称：軍艦島）を遠望しながら航行します。

初の東南アジア周遊クルーズ

横浜発着でベトナム、香港、台湾など東南アジアを周遊するクルーズ。各国の魅力と船旅の魅力を存分にお楽しみいただけます。

また、2017年シーズンのチャーター・クルーズは、クラブツーリズム株式会社のほか、株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社クルーズ・プラネット両社の共同運航、株式会社阪急交通社による3コース、4出発日があります。

ダイヤモンド・プリンセスは、プールサイドに設置された大型スクリーンで映画を楽しめる人気の「ムービーズ・アンダー・ザ・スターズ」、最上階デッキにある大人専用のリラクゼーション・スペース「サントゥアリティ」など、プリンセス・クルーズならではの数々の革新的なサービスと設備が整っています。さらに、船内でも日本のお客様にクルーズを堪能いただけるよう、次のような独自のサービスやアクティビティを数多くご用意しています。

- 日本式大浴場「泉の湯」：洋上最大級の規模。大海原を眺めながら入浴が可能（有料）
- 寿司レストラン「海（Kai）寿司」：寿司と日本の銘酒をお楽しみいただけます（有料）
- 麺カウンター：ホライゾン・コートでは日替わりでラーメン、そば、うどんをご提供します
- 「落語」などの日本独自の演芸や、折り紙教室などを実施
- ラグジュアリーブランドを取り揃えた免税ショップ

また、ダイニングルームでは、国際色豊かな料理に加え、和食もお召し上がりいただけます。さらに、船内には日本語スタッフが約100名乗船、メニューや各種案内資料、船内情報も日本語と英語でご用意しております。

プリンセス・クルーズについて

クルーズ業界で最もよく知られる名前の一つであるプリンセス・クルーズは、現在17隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテインメント、アメニティーの豊富な選択肢を、上質のサービスとともに提供。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間170万人のゲストを世界中の目的地に向けて、4泊から111泊のクルーズを運航。プリンセス・クルーズは、カーニバル・コーポレーション& plc (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。

プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」の「トラベル・ウィークリー・リーダーズ・チョイス・アワード2015」にて「ベスト・クルーズ・ライン・イン・アラスカ」を2015年12月に



PRINCESS CRUISES

- 受賞（9年連続の受賞）。米国でのベストクルーズラインであることが評価され「ベスト・ドメスティック・クルーズ・ライン」を同時に受賞
- 米国のトラベル関連のウェブサイト「レコメンド」が主催する「リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて、ベストクルーズライン クルーズコース部門賞を2014年に引き続き2015年12月に受賞
- 「2015 トラベル・ウィークリー・アジア・リーダーズ・チョイス・アワード」のサービス・エクセレンス・カテゴリーでベスト・クルーズ・ライン賞を、2015年10月に受賞
- 第1回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、観光関連産業部門の部門賞を、2015年8月に受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ 2014」を、2015年6月に受賞
- 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」において、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが「グランプリ」受賞
- 日本の歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」において2014年度、2015年度と、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第1位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第1位」、「総合部門第3位」を二年連続で受賞
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2014」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」受賞
- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」において、「運輸部門優秀賞」受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」主催「トラベル・ウィークリー・マゼラン・アワード 2013」において、客船『ロイヤル・プリンセス』（新造船『リーガル・プリンセス』の同型姉妹船）が「ベスト・ラージ・クルーズ・シップ金賞」受賞
- 米国トラベル誌大手「コンデナスト・トラベラー」主催「コンデナスト・トラベラー読者投票 2013」において、日本発着クルーズに就航している『ダイヤモンド・プリンセス』を含む客船6隻が「ベスト・クルーズ・シップ・イン・ザ・ワールド Top 20 ラージ・シップ」に選出
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ 2012」を、2013年6月に受賞

プリンセス・クルーズに関する詳細は、プリンセス・クルーズの日本語ホームページ (<http://www.princesscruises.jp/>) もしくは、TEL: 03-3573-3610 まで。